

日経225
オンライン
トレードスクール

“入口の大切さ”



トレードを取り組む前に
必ず知っておくこと

面白くなさそうだけど大切です！

何をするにも
入口が肝心です！

「成功を収めるための条件・・・」

「1割程度の勝ち組に入るために・・・」



はじめに

『心構え』や『考え方』という言葉聞いて、

「おもしろくなさそうだな～」

「それよりも、簡単に勝てる方法を教えてよ～」

と思われる方も多いかと思いますが、トレードで何年にも渡って継続的に勝てるようになるためには、非常に重要なことですので、これから長い目で利益を上げ続けたいと思われる方は、是非読んで頂ければと思います。

逆に、『ビギナーズラック的な勝ちさえあればいい』と思われる方は、当スクールの考え方には合わないと思います。

ビギナーズラック的な勝ち方は危険です。

特に理由が明確でない勝ち方をしてしまうと、トレードを『簡単なものだ』という思い込みを発生させ、その勝ちに酔いしれてしまいます。

そして、同じように、基準も明確でないその場凌ぎの『なんとなくトレード』をしてしまいます。

それで負けても、「そんなはずはない」と何度も何度も同じことを繰り返してしまうのです。

その結末は言うまでもありませんね・・・

トレードの世界では、たまたま勝ってしまうことはあります。

その勝ちを『今回だけ』と割り切れるのであれば問題ありませんが、人の感情や欲は一度良い思いをしてしまうと、なかなか頭から離れないものです。

そんな状況に陥らないために、当スクールの『成功への三種のステップ』をご用意致しました。

今回お伝えする内容は、その中の入口部分となりますので、是非素直な気持ちで読んで頂ければ幸いです。

これからお伝えさせて頂く中で、『手法』という言葉が頻繁に出てきます。

この『手法』という言葉の捉え方は、人によってバラつきが出てきます。

本来私が思う手法というのは、エントリーポイントも含め、エントリーする前の準備段階、エントリーした後の処理など全てを総合的に判断していくような大きな括りのことを指します。

ただ、この教材では、そこまで大きく広げてしまうと理解がややこしくなるかと思しますので、ここで言うところの手法とは、『**エントリーポイントのこと**』としてシンプルにご理解頂ければと思います。

目次

第1章 成功を収めるための条件	5
第2章 失敗するカラクリ	8
第3章 勝ち組は1割程度	10
第4章 手法はいつどのようにして使うのが重要	15
第5章 知るだけでは何の意味も無い	18
最後に	21

第1章 成功を収めるための条件

それは、「諦めずに本気で頑張り続ける気持ちを持っているかどうか」という点にあります。

何か根性論で、「そんなことか〜」という気持ちになるかと思いますが、

この誰もが「当たり前やんッ！」と思うところに落とし穴が潜んでいるのです。

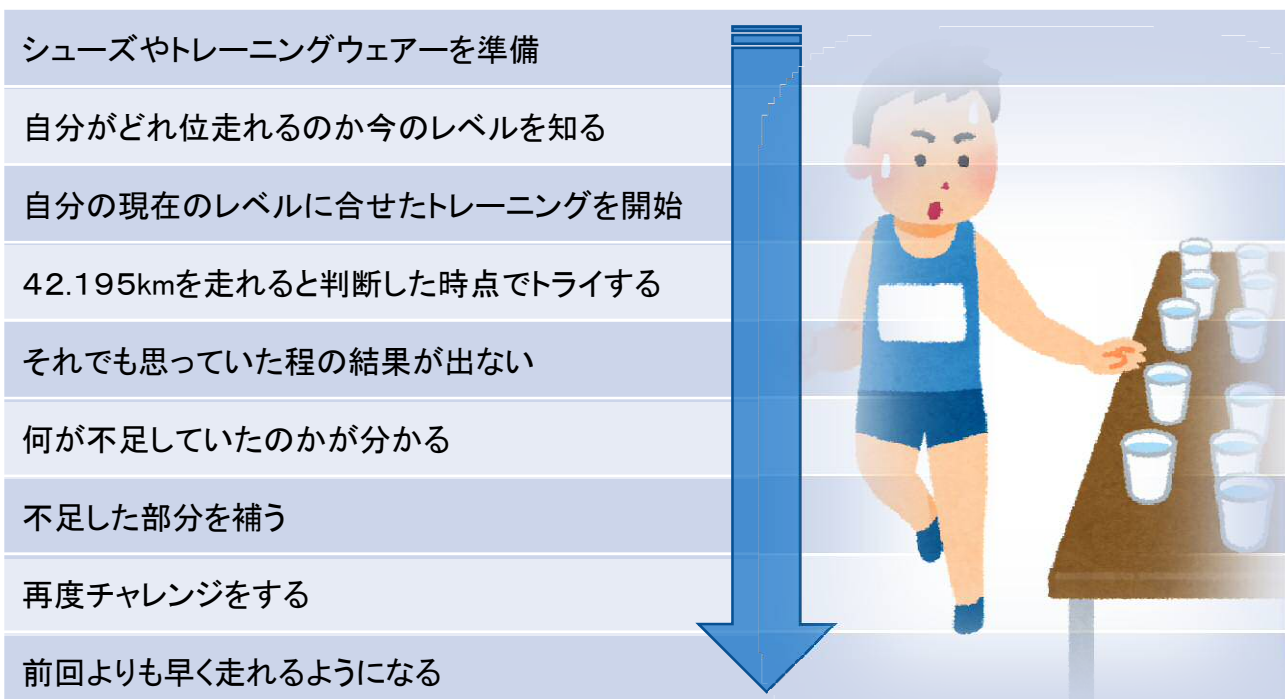
今は偉そうなことを言っている私も実はそうだったのですが、特にこのトレードの世界というのは、「本気で頑張り続ける」という意識が低い方が多いように思います。

何か新しいことを始める時には、必ずと言っていい程下準備や基礎の積み上げは必要になります。

スポーツでも習い事でも基礎を積み上げるためのトレーニングをしますよね。

例えば、マラソンを走ろうとした時に、何もしなくていきなり走っても完走すらできないどころか、体を痛めてしまうことになってしまいます。

マラソンを走ろうと決めたとすると、以下の順序をしっかりと踏んだ上でトライをするはずですが。



これらは当然の流れですし、これを繰り返していくしかありませんよね。

トレードもこの流れと何ら変わりはありません。

では、トレードとの比較をしてみましょう。

マラソン	トレード
シューズやトレーニングウェアを準備	必要な教材や手法を準備
今のレベルを知る	自分の知識レベルを知る
現在のレベルに合わせたトレーニングを開始	知識に合わせて勉強をする
走れると判断した時点でトライ	学んだものを覚えて実行
思っていた程の結果が出ない	勝ち負けを繰り返し悩む
何が不足していたのかが分かる	自分に足りないものが何か追求する
不足した部分を補う	不足していた部分を補う
再度チャレンジをする	再チャレンジをする
前回よりも早く走れるようになる	勝ちが少しずつ増えてくる

このような順序を経て、そして繰り返して、少しずつ上達していくものです。

一気に最高到達点に行けることなんてあり得ません。

しかしながら、ことトレードとなると、いきなりその最高到達点に辿り着けるものがあるのではないかとはいえないと思います。

ではなぜ、そんな勘違いをしてしまうのでしょうか。

私は情報量の多さや情報合戦がそうさせてしまっているのではないかと考えています。

どういふことかと言いますと、その情報そのものが良いか悪いかという問題ではなく、情報が多くなると、発信する側同士の競争が始まります。

そうなると、いかにその情報がスゴイものであるかというアピールをするようになり、「〇〇〇だけで」「毎月〇〇万円」「〇〇〇さえできれば」「〇〇〇さえ覚えれば簡単に」などという謳い文句が自然の流れの中で出てきてしまったのっだと思います。

ネット上でこのような謳い文句のものを探せばいくらでも出てきますので、探す側が「そんなものがあるんだ」という勘違いをするのも仕方ないのかもしれないですね。

この章では、皆さんに『**トレードだけが特別なものではない**』ということに気付いて頂きたいのです。

特にトレードはお金が絡むことですから、前のめりになってしまう気持ちも分かります。

そもそも楽しんで稼げる方法が実際に存在するのであれば、そこら中億万長者だらけになって日本は崩壊してしまうと思います。

私がいろいろな相場経験の中で如実に感じたことは、すぐに使ってどうにかなるというような

「魔法のような杖」は存在しないということです。

これははっきりと言える事実かと思ひます。



話が少し外れてしまいましたが、今一度トレードというものを見直してみることをお勧めします。

逆に言えば、それさえ分かって**諦めずに継続して頑張れるのであれば、光は見えてくる**ということも言えますからね。

第2章 失敗するカラクリ

先程、第1章でも「**トレードだけが特別なものではない**」とお伝えし、ネット上の謳い文句の誘惑に負けて勘違いしてしまうということについてお話しをさせて頂きましたが、実はもう一つその誘惑を行動に結びつけてしまう問題点が潜んでいます。

もう一度マラソンに例えてお伝えしていきたいと思います。

マラソンは、ジョギングや趣味程度のランニングとは違い、普通の一般人ではすぐにできるものではありません。

ということは、教えてくれるコーチや監督の指示に従ってトレーニングなり実践なりをすることになります。

何もできない状態で「マラソンに出たいです」といってもそんな無謀なことはコーチや監督は許してくれませんよね。

仮に第1章でご説明した誘惑に乗ってしまったとしても、実際に実行するとなると、ストップが掛りできないのが現実です。

しかし、トレードではどうでしょう。

トレードもマラソンと同じく趣味ではありません。

お金を稼ぐという戦いの場です。



皆さんはその戦いの場に、今すぐにもやろうと思えば**自分の意志でできる環境に立っている**のです。

何の制限もなければ、誰かの許しを得てからやらないといけないというものでもありません。

自分で証券会社に口座を開設すればいつでも取引を開始することができます。

ですから、**簡単に「やってみよう」と思った時にできてしまう環境**こそが、失敗してしまうカラクリにもなっているのです。

これも仕方のない話しですし、どうすることもできない問題でもあります。皆さん自身がそのことを知っているだけで、それを制御することができるようになります。

当スクールでは、基本と手法を理解して頂くまでは、トレードを禁止しております。

当たり前のことですが、失敗しないためにも非常に重要なことです。

トレードにおいては『**知識レベルの向上**』から『**実践レベルへの移行**』そして『**実践レベルの向上**』という流れは非常に大切です。

いずれも全て**置かれている環境と入口の問題**ですので、当然のことだと思われるかもしれませんが、お金が絡むと人は前のめりになり、当たり前のことが当たり前でなくなってしまう傾向にあります。

当然私もそうです。



ただ、方向感を失ってしまっても、このような理屈を理解しておけば元に戻ることはできますので、しっかりと理解しておいてください。

この内容を読んで「なんだ～そんなことか、ハイハイ」と思うのか「なるほどな～そんなに甘くないのか」と気を引き締めるのかによって、今後の結果の明暗を大きく左右してくるものになるかと思っています。

第3章 勝ち組は1割程度

よく巷では、勝ち組に入れるのは**全体の1割程度**だと言われています。

ということは9割の方が負け組であるということになります。

このことについては、私もおおよそその通りだと思います。

ただ、勝ち組負け組の線引きは明確ではありませんよね。

私は今回この〇割とか、勝ち組負け組の線引きにフォーカスを当てるつもりはありません。

(ちなみに私は、一発屋は勝ち組には入らないと思っていますが……)

ここで大切なのは、**多くのトレーダー達が負けているという事実**です。

しかしその反面、中には**大きく継続して勝ち越しているトレーダーがいるのも事実**です。

皆さんもそのような勝ち組の方を羨ましく思ったり、何か特別なことをしているのではないかという気持ちになったことはないでしょうか？

では、なぜこのような差が生まれてくるのか考えてみましょう。

勝ち組の人たちは決して皆さんが思っている程、**特別なことはしていません**。

そしてトレード自体も実際は**難しいことはしていない**と思います。

また、世の中にはたくさんの指標が存在していますが、勝ち組の人達はその指標の全てを把握して全てを使いこなしているという**必ずしもそうではありません**。

当然、指標や手法の理解は必須ですし、いろいろな知識を持っているに越したことはありませんが、それよりもっと大切なことがあります。

それは、

自分が選択した手法を徹底的に理解し、そして継続して使い続け、長い期間を掛けて検証すること

です。

そうすることで、いつ、どのようなタイミングでその手法を使えば優位性があるのか、ということが実体験として分かってきます。

これも『**実践レベル**』を向上させていく上では**必要**なことです。

手法の合う、合わない、良い、悪いはあるかと思えますし、すぐに良いものに巡り合えるとも限りませんが、まずはその選んだ手法を徹底的に追及し、そして使い切ってみるということが大切です。

今までに色々な手法を試してこられた方は一度思い返してみてください。

本当にその手法の全てを理解して、徹底的に使い切ってみたかどうかを。

いかがでしょうか。

よくありがちなことが(私も初めはそうでしたが)チョコッとだけ試ただけで**すぐに結果が出なかったために、「その手法はダメだ」という判断をしてしまう**ということです。

これを『**手法のつまみ食い**』といいます。



そもそも当スクールの手法も含め、どんな良いと言われている手法でも**100%常に勝てるものなんて存在しません。**

100%は存在しないということを本当は分かっているはずなのに、それでも多くの方は100%を望んでしまっているところにも問題があります。

100%に近い状態を目指す分には構いませんが、**100%を望んではいけません。**

無いものを望んでも手に入りませんよね。

『相場に絶対は無い！』ということをまずは頭に入れておいてください。

では、100%が無いという前提で考えていけば、おのずと**確率を求めに行く**ことになります。

確率というものは、回数を重ねることによって導き出すことができます。

ということは、つまみ食い程度で確率を求めることなんてそもそもできないということになってしまいますよね。

とにかく、継続して同じことを続けることによって初めて確率というものが生きてくるようになり、そして、その有効性も初めて見えてくるようになるのです。

例えば、極端な例になりますが、70%の勝率を検証する場合、トータル100回のトレードを行うとしましょう。

そうした時に、1回～29回まで全敗しても、30回～100回まで全勝すると勝率は70%になります。

まずありえない極端な例ですが、確率というのはこのようなことも起こり得るということなのです。

ですから、まずは自分で期間を決め、そして**徹底して同じことを繰り返し、忍耐力を持って継続**していくことができないと本当の意味で「検証した」ということにはなりません。

私は、トレードに関して言えば、相場の周期なども考慮すると、少なくとも3ヶ月～半年ぐらいの検証は必要になってくるかと思っています。

それぐらい同じことを検証すれば、色々な相場状況で試すことができます。

ということで、勝ち組に入っているごく一部の方達は、

時間を掛けて必ずこのような検証をしております。

これを、特別なこととして捉えるかどうかは、その人の価値観によって違ってくるかと思いますが、私は当たり前のことだと思います。

これも、実行するかしないかだけの問題であって、**誰もがやろうと思う気持ちさえあればできること**です。

こんなしんどくて邪魔くさいことは嫌ですよね。

ほとんどの方は、この『しんどい』『邪魔くさい』ということから逃げ出してしまいます。

その『ほとんどの方』と『一部の方』が『勝ち組』『負け組』の境界線になってくるのではないのでしょうか？

ただ、実際のところ、頑張っても検証しても、結果が伴うとは限りません。

何度も何度も検証を繰り返す度に、3ヶ月～半年という期間を費やしてしまうことになります。

そうなってしまうと、気持ちも折れてくるでしょうし、そもそも資金も底をついてしまうことにもなり兼ねません。

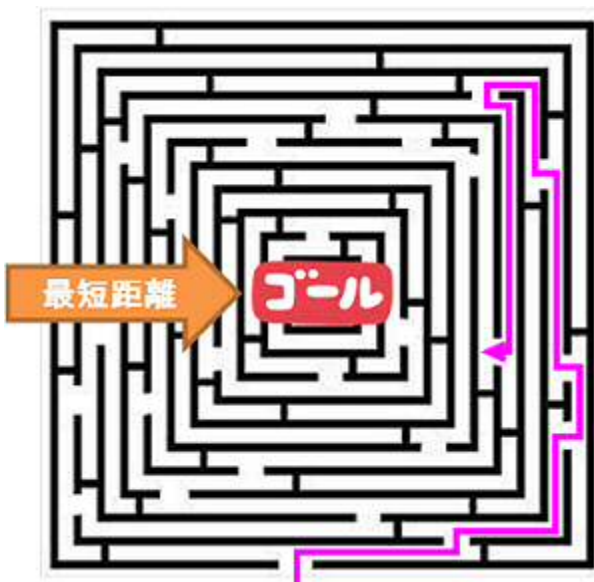
ですから、当スクールを過大評価するつもりはありませんが、

しっかりと**多くの方が検証を終えた手法、再現性の高い手法**を選び、

そして、その中で、

『知識レベルを向上させ』『実践レベルも効率よく向上させる』ことができる、ルールを選ぶことを心底お勧めします。

それが一番の近道となりますのでね。



第4章 手法はいつどのようにして使うのが重要

第3章は手法を徹底的に検証するということの重要性についての説明をしてきました。

今回は、手法の中でも**相場状況によって生きてくる手法とそうでない手法がある**ということについてお話していこうと思います。

手法というものは、手に入れて覚えたからといって、

『すぐに実践で使って結果が出るというものではない』

というのは何度もお伝えしている通りです。

当然タイミングによっては結果が出る時期もありますが、それも長続きはしないはずですよ。

一度上手くいけば人は調子に乗ります。

自分はスーパートレーダーなんだ・・・と。



そして、「そんなもん簡単に増えるやん！」と言わんばかりに資金をどんどん増やして注ぎ込んでしまいます。

そして、「あれよ、あれよ」と気付かないうちに見る見る資金が減っていき、挙句の果てには資金を全て飛ばしてしまう・・・なんてことも珍しくはありません。

では、そういった方は何が悪かったのでしょうか？

注ぎ込む資金を増やしたことがダメだったのでしょうか？

いや、違います。

気付かなかったのです。

何に？

それは、『**相場の状況が変わっていることに・・・**』です。

相場の状況が変わっているにも関わらず、同じことを繰り返してしまったことで、「なんで？なんで？」と訳が分からないうちに負けを積み上げていってしまったのです。

結論としては、多くの場合は手法が悪いのではなく、**使うタイミングが悪かった**、ということになります。

これは、本当に皆さん陥りがちな相場の罠ですので、ぜひ気を付けて頂きたいと思います。

現場での『実践レベル』が不足しているが故に陥る罠ですね。

相場には様々な周期があります。

一般的な言い方をすると、下記図のように、上昇トレンド、下降トレンド、保ち合い(もみ合い)といったものがあり、それぞれが特徴のある値動きをします。



ここでは、トレンドについて詳しく説明する場面ではありませんので割愛しますが、それよりも今重要なのは、『**それぞれの相場によって違う値動きをする**』ということなのです。

特徴のある違う値動きをするということは、当然のことながら同じ手法、同じやり方では勝てませんよね。

ザックリとした表現になってしまいましたが、大切なことは、

『相場状況によって手法や考え方を変えていかないといけない』

ということなのです。

相場を自分の思い通りに動かせない以上、

自分で相場に合せていく必要があります。

逆を言えば、今現在の相場の状況を把握する力が無い人は、いくら手法を覚えたからといって、単発では勝つことができたとしても、**継続して勝つことは困難である**ということが言えるかと思いません。

今現在、「上手くいく時もあれば、そうでない時もあるな～」と感じておられる方は、一度相場状況も合わせて見ていくことで改善されるかもしれませんので、ぜひ参考にしてみてください。

これも『実践レベル』の問題です。

とにかく、知識レベルが向上した後は、**『実践レベル』をどのようにして上げていくのか**が重要なポイントとなります。

第5章 知るだけでは何の意味も無い

少し大袈裟な表現ですが、ここでもまた、関門が出てきます。

「またかいッ！」って感じですよね・・・(^-^);

と言わず、これが最後の章になりますので、是非最後までお付き合いください。

勝てていない方の多くは、

ただ単に知っているというだけで、実際にはできていないことに気付いていません。

『**知っているだけで、できていない**』ということですね。

当然物事のスタートは知ることから始まりますが、ここで満足してしまっはいけません。

特にトレードというものは感情に左右されやすいものですから、**知ったというだけで、できるとは限りません。**

「え〜っ！」と思われるかもしれませんが、実際にはそういうものなのです。

よく、トレードは「**決められたことを淡々と続ければ勝てるようになります**」と言われています。

私の理解では『**決められたことを相場状況に応じて淡々と続ければ勝てるようになる**』ということになるのですが・・・

いずれにしても、それがすぐにできればいいのですが、色々なことを知って学んでも、

いざ実践となると、さまざまな感情が邪魔をして、本来やるべき行動とは違う行動を取ってしまったりもするものです。

今までトレードに関わっていない方は分からないかもしれませんが、これは本当にトレードあるあるだと思います。

頭では理解できているつもりでも、それが**行動と結果に結びつかない**ということが稀に発生します。

度々スポーツの例えで恐縮ですが、フィギュアスケートをしようとした時に、その動作を頭の中でイメージできていたとしても、実際にそれを体で表現できるかということとは別の次元の話になってきますよね。

それは、例えプロスケーターであっても同じことです。

何度も何度もイメージして、練習を繰り返しても完璧な演技というのは簡単にはできるものではありません。

もう少し砕けた表現をすると、小学校などの運動会にPTA種目で出場したお父さん方が走っている姿を想像してみてください。

この時点で少し笑えませんか(^^)

絶対に一人は足が絡まってコケてる人を見るはずです。

あの状況はいつ見ても場を和ませてくれますよね(笑)

あれも、頭の中では自分は走れるものだ勘違いし、体がついて来ないという典型例だと思います。

トレードも全く同じなんです。

運動会で走っていてコケるぐらいであれば笑いで済ますことができますし、後で話しのネタにもできますが、**トレードでは資金を飛ばしてしまうこと**になりますし笑えませんよね。

トレードはお金と直結していますから、他のものと比べても

『欲や感情』に影響されやすくなります。



初めは知ること、理解することからスタートしますが、トレードにはそれとは別に

『自分の欲や感情と戦う世界がある』んだ、ということをしかりと理解した上で、

効果的な対応策(メンタル管理)をしていく必要があります。

これも実践レベルを上げる為には重要なことです。

知識だけを詰め込んで頭でっかちになってはいけません。

手法は知るだけではなく**『使いこなしてなんぼの世界』**です。

具体的なメンタル面の対応策というのは、人によって変わってきますのでここで詳しくはお伝えで

きませんが、**必ず対応策は存在します。**

実践レベルを向上させる為には、

①知識レベルを一定の状態まで向上させる

②知識レベルをどのような相場状況で使うのかを学ぶ

③自分の性格やライフスタイルに合わせて、欲や感情と上手く付き合う

必要がある

この3つが必要不可欠であるということをお伝えしておきたいと思います。

当スクールでは、これら全てをカバーすることのできるシステムをパッケージ化しております。

最後に

いろいろと面倒くさそうなことばかりをお話ししてきましたが、当然全ては伝わりきっていないかと思えます。

ただ、今回この『(青)版』読んで頂いたことで、今までのトレードに対する考え方であったり、偏見を見直す機会となつて、少しでも皆さんの成功へのキッカケとなれば嬉しく思います。

それでは、皆様の成功を心より願っております！

引き続き『成功への三種のステップ』の学びをご検討される方は、以下のページをご覧ください。

三種のステップⅡ(黄)版はこちら
⇒ [\(黄\)版 説明ページへ](#)

三種のステップⅢ(金)版はこちら
⇒ [\(金\)版 説明ページへ](#)

日経225 “知識レベルの向上”
オンライン
トレードスクール **黄**版

日経225 “成功への道”
オンライン
トレードスクール **金**版

トレードの
基本を学ぼう！

シンクロード手法

こんな基礎本待ってました！

3種類の明確なエントリー手法

というものを
意識して
作りました！

一目瞭然の
エントリー
ポイント！

「必要なものをピックアップ！」
「とにかくシンプルに！」
「今まで曖昧だった本質を知る！」

金版の特典

教科書本 教科書の動画解説
専用サイトでの日々のポイント解説
1年間の無料サポート

教科書+動画セット価格 5,000円

※(金)版を直接ご購入の方へは、
この(黄)版は無料で付いてきます。

教科書本、動画解説、日々のポイント解説
1年間の無料サポート、基本を学ぼう(黄)版
セットで 223,000円
※先に(黄)版をご購入頂いた方へは、
5,000円分値引き致します。